

玉島小学校区社会福祉協議会

社協だより



発行: 総務広報実行委員会
第3号 2018.11月

ふれあいウォーク事業



今年で二回目を迎えた「ふれあいウォーキング大会」は玉島の「古い町並みと史跡の道」をテーマに約4キロのコースを設定し、3月25日(日)開催されました。

当日朝起きるとすぐ歩きたいと思うほどの天候に恵まれ、集合場所「玉島支所」を午前8時半、61名の方が参加エントリー手続きを済ませると主催者から我が街玉島の史跡クイズと回答用紙が手渡されました。

9時前から行われた「出発式」「準備体操」を終え、A班B班C班の3グループに分かれた一行は誘導スタッフを先頭に元気よく支所を出発。途中の西爽亭では柚木さん、羽黒神社では福田宮司から由来などのお話をして頂きました。皆さん思い思いのペースでウォーキングを楽しみ、残りわずかのところで、老舗豊島屋の大野さんよりうどんの接待を受け舌鼓と休憩。そのあと足取りも軽くゴールへ向かいました。

気がつけばあっという間にスタートから2時間以上が経過。参加家族を地区社協実行委員が拍手で迎えて11時過ぎに全員フィニッシュ! 続々とゴールしてくる参加者は、ねぎらいの言葉と完歩証やクイズの景品を受け取り笑顔で帰途につきました。来年も玉島小学校区社会福祉協議会スタッフ一同、たくさんの方のご参加を心待ちにしています。



倉敷市災害ボランティアセンターでの活動報告



平成30年7月の西日本豪雨で甚大な被害を受けた真備町の復旧に向け、倉敷市社会福祉協議会が中国職業能力開発大学校(玉島長尾)に、倉敷市災害ボランティアセンターを7月11日に開設しました。ボランティアセンターでは、ボランティアの方が安全にまたスムーズに活動できるよう、駐車場管理ボランティア保険加入手続、真備町へのバスでの移動、帰ってきた方の長靴の洗浄、消毒、うがい、飲み物の支給などきめ細かにお世話されていました。市内の民生委員協議会、愛育委員会、地区社協などの団体が支援することになり、当社会福祉協議会へ駐車場、洗浄、消毒などの業務を担当してほしいとの依頼がありました。指定された日に、会員5名編成で参加しました。当初は、センターに冷房がなく扇風機が数台でしたが、10日ほどするとエアコンが入り色々と備品も揃い参加するたびに、センターの環境が、整っていました。また、現場からボランティアの方が帰ってきて長靴などを洗浄しますが、断水の時は、ひどい汚れでした。水道が出るようになると汚れも減ってきて、少しずつ現地も復旧していることが感じられるようになりました。市内をはじめ全国から多くのボランティアの方が駆けつけて下さり、被災された皆さんに大きな力添えをいただきました。感謝の言葉をかけながらお礼をさせていただきました。

7月と8月で8回の活動を行いました。参加いただいた会員の皆様には、猛暑の中、ご協力ありがとうございました。被災された皆様には、お見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

親子ふれあい事業(親子ふれあいペーパークイリング教室)の中止

平成30年7月29日(日)開催を予定していましたが、気象庁より倉敷市に暴風警報(台風12号)が発令されたので、中止としました。なお、この事業には、19名の参加申し込みがありました。

防災講演会の中止

平成30年9月の防災月間に開催を予定していましたが、西日本豪雨の復旧を優先し、中止としました。

玉島小学校区の概要(平成30年9月末現在)

- ① 人口 8,886人(男4,383人・女4,503人)
- ② 65歳以上高齢者数2,689人
(うち後期高齢者1,530人)
- ③ 高齢化率 30.26%(倉敷市27.02%)



歳末お飾りづくりの開催



平成29年12月24日玉島小学校なないろホームで「歳末お飾りづくり」が開催されました。今回は2回目の取り組みで、参加者は、小学生、保護者43名、関係者を合わせると約50名でした。初めに、大野副会長の開会あいさつがあり、講師の堀幹宏さんからお飾りづくりについてのユーモアあふれる説明がありました。今回の目標は一種類だけでしたがグループに分かれ、堀さんの熱心な指導を受けながら和気あいあいと作業が進められました。そして、うらじろ、橙、飾り付けを使って一生懸命に作品を完成させました。ほんとうに素朴なお飾りですが、正月には堂々と玄関に飾られたことでしょう。参加された皆さん、関係者の皆さんお疲れ様でした。

倉敷市玉島中部高齢者支援センターの紹介

倉敷市玉島中央町1-4-8 (秀明荘内)
TEL 086-523-5322 FAX 086-523-5323

高齢者支援センターは、倉敷市からの委託を受けて、市内に25ヶ所の「高齢者支援センター」と4ヶ所の「高齢者支援サブセンター」があり、高齢者支援センター毎に担当地区が決められています。玉島中部高齢者支援センターでは玉島小学校区と柏島小学校区を担当しています。また、主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師などの専門職を配置しており、専門性を活かしつつ、総合相談窓口として、地域の高齢者の方々が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けることができるように、介護だけでなく、保健・医療・福祉に関する総合的な支援を行う拠点として活動しています。電話での相談だけでなく、ご自宅に訪問することも可能ですので、お気軽にご相談下さい。(所長 片山昌樹)

《介護等に関する相談》
●家族の介護のことで相談したい・・・
●介護予防に取り組み、今の健康を維持したい。

公的サービスや社会資源を紹介し、申請の代行等必要な手続きの支援を行います。また、介護予防などの教室を開催します。



《さまざまな相談事》
●近所の一人暮らしの高齢者が心配・・・
●家に閉じこもりがち・・・何とかしたい！

個別に訪問させていただき、関係者と協力しながら見守りや支援を続けていきます。また、サロン等の紹介を行います。



《権利を守ること》
●財産管理に自身がなくなった・・・
●近所に虐待にあっているような人がある・・・

財産管理の支援等を行う成年後見制度などの紹介を行います。また、事実を確認し、関係者と連携しながら支援を行います。



平成30年度第3回総会が開催されました



平成30年5月27日(日)玉島市民交流センターで、玉島小学校区社会福祉協議会平成30年度第3回総会が開催されました。御多忙の中、66名参加していただきました。

まず、神元副会長を中心に市民憲章、社協憲章の唱和に始まり、猪木副会長あいさつ、来賓の祝辞、紹介が行われました。続いて、猪木(副会長)議長により議事が進行され、事務局から平成29年度の事業報告収支決算報告、そして監査報告がありました。次に平成30年度の役員名簿、事業計画、収支予算の提案があり、いずれも賛成多数で承認されました。

その後「福祉講演会」として、岡山大学落語研究会 OB「らくご藝閣亭」席亭、車屋円陣(くるまやえんじん)こと橋本篤男さんから「落語への招待」がありました。冒頭、謎かけ、小噺といった言葉遊びで笑いを誘われた後の演目は古典落語「やかん」「田能久(たのきゅう)」でした。軽妙なトークに釣り込まれ、会場は大きな笑いに包まれました。ユニークな企画でしたが、落語が聴きたいと遠方から来られた方もありました。大勢のご参加有難うございました。

平成30年度事業計画と収支予算書

玉島小学校区社会福祉協議会

平成30年度 事業計画書

- 1 会議**
(1) 総会 平成30年5月27日(日)
(2) 理事会 随時
(3) 実行委員会 随時
(4) その他会議 随時
- 2 年間行事**
(1) 広報誌の発行 地区社協だよりの発行
(2) 市社協活動への協力 市社協の実施している会員募集、歳末たすけあい運動等に協力
(3) 玉島小学校区小地域ケア会議への協力 地域ケア会議と情報を共有し、地域福祉の課題解決に連携・協力
(4) 玉島学区一人暮らしの会「ひまわり会」 70歳以上のひとり暮らし高齢者の交流活動を支援
(5) 友愛訪問活動 友愛委員、民生委員による65歳以上の一人暮らし、ねたきり高齢者宅への見守りや訪問活動に協力
- 3 市社協メニュー事業**
(1) 福祉講演会 平成30年 5月
(2) 親子ふれあい 平成30年 7月
(3) 防災講演会 平成30年 9月
(4) 歳末お飾りづくり 平成30年12月
(5) ふれあいウォーク 平成31年 3月

玉島小学校区社会福祉協議会

平成30年度 収支・案

(収入) (単位:円)

科目	本年度予算	説明
助成金	483,000	倉敷市社会福祉協議会
寄付金	5,000	わかち合いの会
雑収入	100	利息
繰越金	387,055	前年度より繰越
計	875,155	

(支出) (単位:円)

科目	本年度予算	説明
事務費	130,000	
印刷費	20,000	
通信費	10,000	
消耗品費	10,000	
会議費	90,000	
事業費	410,000	
広報発行事業	80,000	地区社協だよりの発行
ひまわり会事業	30,000	地域福祉事業
福祉講演会事業	60,000	市社協メニュー事業
親子ふれあい事業	60,000	市社協メニュー事業
防災講演会事業	60,000	市社協メニュー事業
歳末お飾りづくり	60,000	市社協メニュー事業
ふれあいウォーク	60,000	市社協メニュー事業
予備費	335,155	
計	875,155	